

科目番号	53016	分類	専門科目 臨床看護学領域	履修者	看護科学コース (看護管理者プログラム)			学年	
科目名	成人・老年看護学特論Ⅱ (Advanced Course in Adult and Gerontological Nursing 2)							1	
								配当セスター	
								後期	
担当者	○竹内 朋子			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連 (%)			
【概要】 成人期・老年期にある対象と対象を支えるための医療・保健・看護サービスの在り方について理解を深める。さらに、多角的に医療・保健・看護サービスの現状を把握し、問題の所在を明らかにし、洞察し、諸課題に関する情報収集・分析能力及び専門分野に関する研究能力を養う。						○	1. 看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力		
【目標】 1. 成人・老年看護研究の国内外の動向について説明できる。 2. 成人・老年看護研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチについて説明できる。							○ 2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力		
							○ 3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力		
							4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステム的管理能力の向上		
							5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢		
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1・2回	急性期看護学研究の動向（国内・海外）							竹内	
第3回	急性期看護学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ								
第4・5回	慢性期看護学研究の看護の動向（国内・海外）								
第6・7回	慢性期看護学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ								
第8・9回	終末期看護学研究の看護の動向（国内・海外）								
第10・11回	終末期看護学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ								
第12・13回	老年看護学研究の看護の動向（国内・海外）								
第14・15回	老年看護学研究の新たなエビデンス構築に向けたアプローチ								
事前・事後学習	事前学習：必携図書等から各回の講義テーマの概要について理解しておく。 場合によっては指定の事前課題を提出する。 事後学習：講義内容を復習する。場合によっては指定のレポートを提出する。 ※単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	参加状況（30%）、課題・レポート等（70%）から総合的に評価する。 ※フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> • Clifford S. Deutschman : Evidence-Based Practice of Critical Care (Elsevier) • Judith Carrier : Managing Long-term Conditions and Chronic Illness in Primary Care: A Guide to Good Practice (Routledge) • Eduardo Bruera (Ed.) : Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care (CRC Press) • Sheryl Zimmerman : Assisted Living Needs, Practices, and Policies in Residential Care for the Elderly (Jons Hopkins University Press) その他適宜紹介する。								
備考	授業は参加型・ゼミナール形式で展開する。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								